

# 一般質問

岡野 孝 則

(民主クラブ)

## 旧屋内水泳プールの利活用

問 今後の方針は。

答 体育協会の傘下団体を含め、桂木町連合会など、一致してサブアリーナを望んでおり、市教委としても方向性を示したい。



旧屋内水泳プール

## 市税など、収納対策プロジェクトの推進内容と対策は

問 市税を初め滞納累計額は。

答 市税、1億3959万123円。国保、2億162万9132円。介護保険料、430万834円。保育料、367万6

300円。公住、2356万973円。上下水道、819万6318円。簡易水道、26万8783円。

問 税は行政としての事業実施

また、市民が生活する上で無くてはならない財源、何人たりとも公平の原理であり、滞納を無

い事を願う。その対策は。

答 平成18年度に立ち上げた副市長を責任者とするプロジェクトを最大に生かし、教育の場合、ラジオふらの、ホームページを活用、税の大切さを理解して頂き、今後も啓蒙活動を推進。

問 条例など、導入の考えは。

答 今後検討して行きたい。

## 学校教育に於ける携帯電話・インターネットのルール作り

問 有害サイトから子供達を守るため、教育委員会の考えは。

答 携帯電話・インターネット使用は、家庭内で責任を持ち十分なる協議が必要。対策は、講演会など開催、啓蒙に取り組む。

## 公立高等学校の配置計画案

問 間口減の対策と今後は。

答 阻止し今後魅力ある教育に。

東海林 孝 司

(民主クラブ)

## 「食」の安全・安心

問 食の安全・安心の認識とは。

答 農産物に関する情報の公開や共有により、生産者や事業者が消費者との信頼関係を構築することが重要と考えている。

問 産地偽装・食品偽装・冷凍

食品中毒など揺れる「食」への信頼。食の安全・安心を推進する行政の役割と責任を伺う。

答 第一義的な責任・責務は農産物を生産する農業者や事業者にある。

食の安全・安心確保に関する啓蒙普及や情報提供が行政の役割であり責務である。本市においては、安全安心の観点から、GAP（適正農業規範）の啓蒙普及に取り組んでいる。

今後とも、富良野産の安全で安心な農産物や加工品など、地元食材を市内のレストラン・宿泊施設で使用してもらうため、生産者と利用者を結ぶ取り組みが必要と考えている。



適正農業規範 (GAP)

## 学校にモンスター

問 学校に非常識なクレームや無理難題を持ち込む保護者、いわゆるモンスターペアレントの存在が社会問題化している。その実態と、教員・保護者・地域への対応を教育長に伺う。

答 市内の小中学校を調査、該当する事案はないが、昨年からスタートした特別支援教育の学習指導に対して、非常識な行動を取る保護者が見受けられる。

その際には学校・担任・教育委員会と連携し、これまでも直接家庭訪問を行いながら、子どもとしっかり向き合い、保護者の話を聞くなど解決に向け迅速な対応に努めている。